

Track 14.

それでいいのさ

何気ないしぐさが 今も目に浮かぶよ 振り返るときに ちょっと目を細めたり
あの頃はみんな 日に焼けていたものさ 小さく笑う口元に 白い歯がこぼれてた
そうそれがよかった

いつも遠くから 隠れて見るだけなのに 君のことすべて知っている気分さ
今度の日曜日 一緒にどこへ行こうか なんのあてもないのに 毎日悩んでいた
でもそれがよかった

もしもほんの少しの勇気があったら 今と違う未来が待っていたのかな

こんなに君のこと 愛しているだなんて 他の誰にも気づかれていないはず
今じゃもう君にさえも 伝えられないけど 君だけは知ってると思いたいのさ
そうそれでいいのさ

運命のいたずらなんてありはしないよ こうなることが初めから分かっていたから

月日は何事もなく 過ぎ去って行って 僕らもきっと変わってしまったんだろう
教えてほしいよ あの日に返る魔法を たとえすぐに覚める夢でも
そうそれでいいのさ